

【公表】 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもプラス取手教室			
○保護者評価実施期間	令和8年2月2日～令和8年2月28日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31名	(回答者数)	16名
○従業者評価実施期間	令和8年2月2日～令和8年2月28日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数)	8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月20日			

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや 意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個々に合わせた療育内容が実施できている	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりのペースに合わせた環境を整え、特性をより細かく知ることで日常生活や学校生活、就労などに繋がる療育に努めている。 提供するツールや課題を常に見直し、個々にあったものを提供している。 お子様の抱える悩みや課題に対して、一緒に解決策を模索したりSSTを取り入れコミュニケーション力の向上に繋がるように支援している。 言語聴覚士を配置し、必要に応じて個々の課題に取り組んでいる。 	より課題に寄り添った療育を目指していく。
2	お子様や保護者様との意思の疎通や情報伝達に配慮がされている	<ul style="list-style-type: none"> フィードバックの際は、保護者様と担当職員のみを基本とし、ご本人の前では話し辛いこともお聞きできる環境を整えている。また、ご本人の頑張りや成長を具体的に伝えている。 さまざまなツールを用いて、分かりやすく伝える配慮をしている。 保護者様からご要望があった際は、面談を行い情報を共有し支援に繋げる。 	さまざまなニーズに寄り添い、出来る範囲での対応を心掛けていきたい。
3	安心感があり満足度が高い	<ul style="list-style-type: none"> 働く環境を整え、職員が穏やかに楽しく業務に当たれるようにすることで職員の定着率に繋げている。 職員間のミーティングを細かく設けることで情報を共有し、支援の方向性を統一する。 	今後も都度労働環境を見直し、風通しの良い職場を継続していけるようにしていく。研修等を多く取り入れ、職員のスキルアップを目指していけるよう努める。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている 課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	外出やイベントをすることが少ない	<ul style="list-style-type: none"> 個別療育を希望されている方は他児との交流や集団での活動を求めている場合がある。 療育時間が短い為、企画をすることが難しい。 	保護者様の意見も取り入れながら、ニーズに沿った内容を検討していく。
2	保護者同士の交流が少ない	<ul style="list-style-type: none"> 集団で行うイベントがない。 希望されていない方もいる。 	複数人が集まり交流するイベントや勉強会などの企画をし、希望者が集える環境を整えていきたい。
3	集団療育の提供がない	<ul style="list-style-type: none"> 個別療育に特化した教室のため、個別療育の中で集団生活に繋がるための支援を提供している。 	ニーズを的確に把握し、常に集団生活や社会生活に繋がる療育を意識していきたい。